

2019年1月10日

会 員 各 位

社会系教科教育学会長 米田 豊  
研究発表大会実行委員長 關 浩和

## 2018年度 社会系教科教育学会 学会発足30周年記念 第30回研究発表大会

厳寒の候、皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、2018年度社会系教科教育学会・学会発足30周年記念第30回研究発表大会を下記の要項で開催することとなりました。会員の皆様方はもとより、社会科教育及び地理歴史科・公民科教育、生活科教育、総合的な学習の時間等に関心をもたれている方々をお誘い合わせの上、多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

### 記

- 1 期 日 2019年2月9日（土）・10日（日）
- 2 場 所 兵庫教育大学加東キャンパス嬉野台地区 共通講義棟・教育子午線ホール  
〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1
- 3 日 程

### 第1日（2月9日）

9:00	9:30	12:00	13:00	17:00	17:45	
	受付	自由研究発表1	理事会 昼食	シンポジウム 於 教育子午線ホール	総会	情報 交換会 学生食堂
					18:00	19:30

### 第2日（2月10日）

9:00	9:30	12:00	13:00	16:30
	受付	自由研究発表2	昼食	課題研究発表 課題研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 於 共通講義棟・教育子午線ホール

4 主 催  ESSDRA 社会系教科教育学会

5 後 援 国立大学法人 兵庫教育大学  
兵庫県教育委員会  
神戸市教育委員会  
加東市教育委員会

5 大会参加費 3,500円  
情報交換会費 5,000円（会場 学生食堂）

6 受付  
9:00から、共通講義棟の1階入口で行います。

7 昼食  
第1日目は、大学会館1階の学生食堂をご利用ください。  
第2日目は、弁当を販売していますが、これは、事前に申し込まれた方のみです。  
当日の対応はできません。

※大会参加費ならびに情報交換会費は、同封している振込用紙で振り込まないでください。  
事前振込の期日は過ぎています。  
同封されている振込用紙は、年会費専用の振込用紙です。

8 研究発表大会事務局



〒673-1494

兵庫県加東市下久米942-1

兵庫教育大学大学院学校教育研究科 社会系教科教育学会

TEL: 0795-44-2306 (關)

FAX: 0795-44-2306

E-mail: [hiroseki@hyogo-u.ac.jp](mailto:hiroseki@hyogo-u.ac.jp)

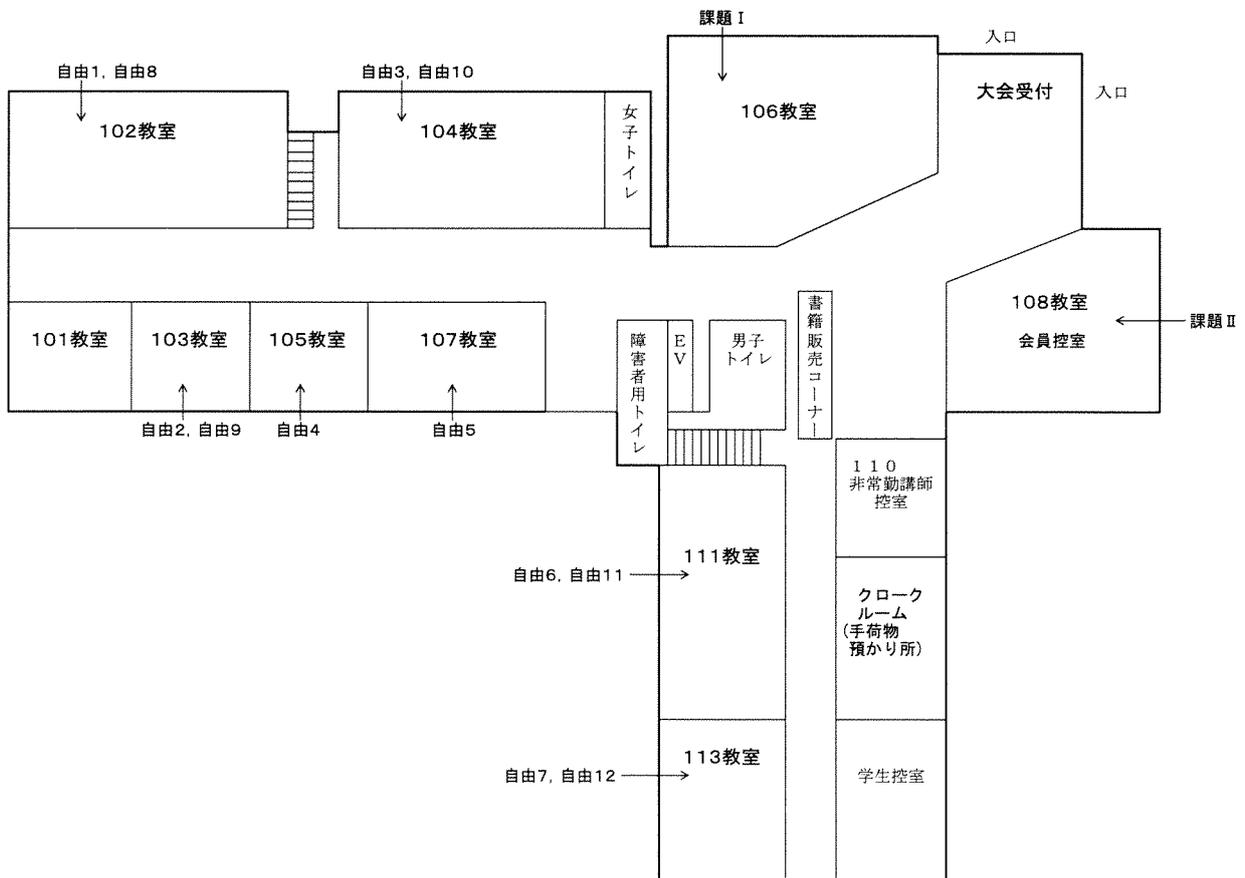
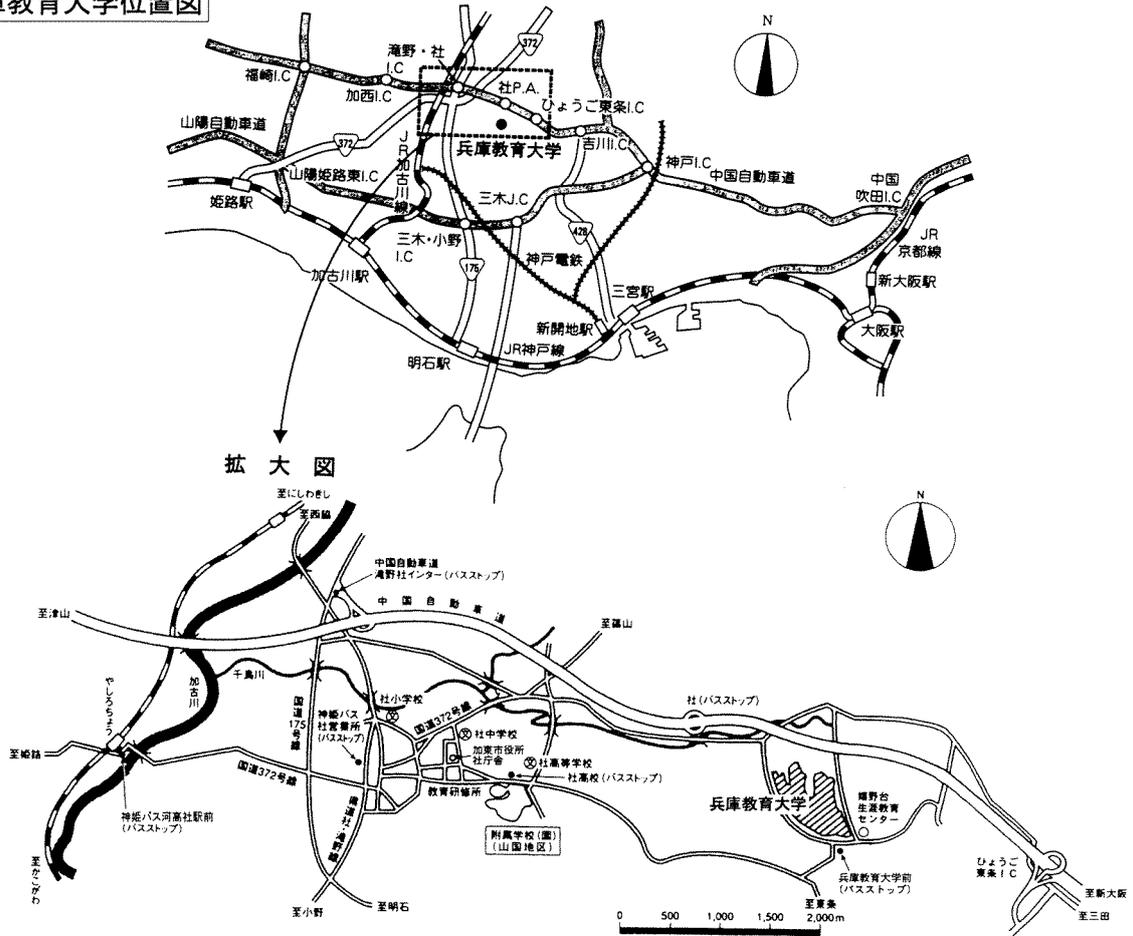
9 大会情報  
大会に関する情報は、次のサイトを参考にしてください。  
参加者状況等を随時更新しています。  
<http://essdra.fan-site.net/>

10 大型テレビ及び液晶プロジェクターは、すべての教室に設置してあります。  
PC及びHDMI変換アダプタ等の機器は、各自ご持参ください。

# 大会会場ご案内



兵庫教育大学位置図



第1日 2月9日(土)

於：共通講義棟

自由研究発表 [1]

(9:30~12:00)

【第1分科会】(1階 102教室)

司会者 鳴門教育大学 梅津 正美

- (1) 9:30 「構え」を中核とした高等学校「歴史総合」の授業開発  
- 単元「13世紀モンゴル帝国とEU」を事例として -  
兵庫県立須磨東高等学校/兵庫教育大学大学院 三嶋 文子
- (2) 10:00 「科学の商業化」に焦点化した小学校社会科環境問題学習の開発  
- 単元「水俣病に向き合う」を事例として  
加東市立社小学校 吉川 修史
- (3) 10:30 「金利」に着目した経済学習の授業開発  
- 単元「金融のしくみ」を事例として -  
大阪教育大学 奥田修一郎
- (4) 11:00 生徒の間から始まる歴史探求の授業  
- 鉄砲伝来を事例として -  
山口県立西京高等学校 藤村 泰夫
- (5) 11:30 教育系大学・学部の教師教育の改善  
- 「初等社会科内容論」「初等社会科教育法」の実践を通して -  
岡山理科大学 紙田 路子

【第2分科会】(1階 103教室)

司会者 京都女子大学 松岡 靖

- (1) 9:30 「社会的な想像力」を育成する小学校社会科防災学習の授業開発  
鳴門教育大学大学院 笈田 太郎
- (2) 10:00 アクティブラーニングの手法を取り入れた小学校社会科教材開発力の育成に関する一考察  
- 「都道府県かるた」づくりを通じた教育実践を中心に -  
兵庫教育大学 井上 敏孝
- (3) 10:30 聞く個が活動する、小学校社会科の汎用的な授業スタイルと指導方法  
- 資料の読み取り順序の提示と板書で問題解決学習 -  
静岡市立安東小学校/愛知教育大学/静岡大学大学院 大西 洋
- (4) 11:00 事実認識の「解釈性」を扱う小学校社会科歴史教材の開発  
- 『交渉ゲーム』教材「条約改正」を事例として -  
岩国市立杭名小学校 福村 優
- (5) 11:30 社会的な見方や社会的な考え方を働かせ、よりよい社会のあり方を考える子どもの育成  
- 小学校第5学年「日本の国土とくらし」の実践をとおして -  
弥富市立日の出小学校 植田真夕子

【第3分科会】（1階 104教室）

- |           |   |           |       |
|-----------|---|-----------|-------|
|           | 司会者   | 国立教育政策研究所 | 二井 正浩 |
| (1) 9:30  | 社会科における「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法の開発<br>－中学校「日本の諸地域」学習の振り返り場面で生徒が立てた「問い」に着目して－<br>鳥取市立湖東中学校／兵庫教育大学大学院 |           | 大島 泰文 |
| (2) 10:00 | 意志決定の合理性を高める社会科学習法の開発<br>－思考過程の可視化に着目して－<br>三田市立上野台中学校  |           | 王子 明紀 |
| (3) 10:30 | 経済の視点を取り入れた社会科歴史学習の方略<br>－オーセンティックな学習に向けた歴史・経済の学際的アプローチ－<br>茨木市立南中学校                            |           | 梶谷 真弘 |
| (4) 11:00 | 教育実習生のためのルーブリック開発のアクションリサーチ<br>－ルーブリックは社会科授業構成力の向上に有効か－<br>広島大学附属中・高等学校                         |           | 栗谷 好子 |
| (5) 11:30 | E S Dの「環境」領域からの世界史教育内容開発<br>－単元「近代日本の産業発展」を事例として－<br>阪南大学                                       |           | 祐岡 武志 |

【第4分科会】（1階 105教室）

- |           |  |        |                                  |
|-----------|--|--------|----------------------------------|
|           | 司会者  | 大坂体育大学 | 岡崎 均                             |
| (1) 9:30  | 中学校社会科における政治的判断力の育成<br>－他教科との連携による開発単元「サッカーのルールを考えてみよう」の場合－<br>鳴門教育大学大学院                   |        | 平野 裕大                            |
| (2) 10:00 | 新科目「公共」に向けての単元開発<br>－起業と金融について－<br>大阪府立三国丘高等学校   |        | 大塚 雅之                            |
| (3) 10:30 | 社会参加を組み入れた新科目「公共」の授業開発<br>－「子連れ市議問題」を事例として－<br>熊本大学  |        | 黒岩 義史                            |
| (4) 11:00 | 見えない力を読み解く「公共」の授業構想<br>－出生への介入を手がかりとして－<br>京都女子大学  |        | 石原 純                             |
| (5) 11:30 | 中学校社会科・歴史的分野と公民的分野における価値意識を形成する授業の比較検討<br>岐阜市立加納中学校<br>岐阜市立加納中学校<br>岐阜市立加納中学校<br>岐阜市立加納中学校 |        | 瀬川 了裕<br>梅村 亮介<br>今井 良昌<br>七野 武稔 |

【第5分科会】（1階 107教室）

- |           |  |        |       |
|-----------|--|--------|-------|
|           | 司会者  | 関西学院大学 | 峯岸 由治 |
| (1) 9:30  | 戦後初期の社会科をめぐる教育観の展開<br>－上田薫と馬場四郎の学問的アプローチを手がかりとして－<br>広島大学大学院             |        | 大野木俊文 |
| (2) 10:00 | 小学校歴史学習における新しい思考力育成の研究<br>－第6学年単元「平城京と奈良の大仏」の場合－<br>八王子市立第十小学校／日本体育大学大学院 |        | 橋本 隆生 |
| (3) 10:30 | 「希少性」と市場経済の授業開発<br>広島大学附属中・高等学校  |        | 阿部 哲久 |
| (4) 11:00 | 私たちの生活と工業生産<br>－第5学年 研究開発で新製品－<br>香川県宇多津町立宇多津小学校                         |        | 河野 富男 |

- (5) 11:30 大縮尺地図を活用した地域学習の開発とその公開  
 - 大学と附属の協働による中学校社会科地理学習の振興に関する一試み -  
 香川大学 伊藤 裕康  
 香川大学教育学部附属坂出中学校 山城 貴彦

**【第6分科会】(1階 111教室)**

- 司会者 青山学院大学 水山 光春
- (1) 9:30 省察による地域的特色の再構築を促す比較動態地誌学習の開発  
 - 「地理探究」(「アフリカとヨーロッパ」の比較地誌)の単元プラン -  
 兵庫教育大学大学院 宮内 俊輔
- (2) 10:00 戦後の郷土教育運動における「地理教育」の展開  
 - 渋谷忠男の「世界地理の学習」に焦点を当てて -  
 愛知東邦大学 白井 克尚
- (3) 10:30 空間的・地理的な見方・考え方の育成を中心とした市民性教育  
 - 欧米地理教育界の潮流「Spatial Citizenship Education」に注目して -  
 兵庫教育大学 阪上 弘彬  
 広島大学 渡邊 巧  
 徳山大学 大坂 遊  
 お茶の水女子大学 岡田 了祐
- (4) 11:00 主権者教育としての財政・租税学習の授業開発  
 - 財政危機学習の構造転換 -  
 熊本大学 藤瀬 泰司
- (5) 11:30 知的障害を持った子どもを対象とした主権者教育教材の開発・実践・検証  
 - 岐阜大学教育学部附属中学校特別支援学級の場合 -  
 福井大学 橋本 康弘  
 岐阜大学 須本 良夫  
 岐阜大学教育学部附属中学校 野川 三徳

**【第7分科会】(1階 113教室)**

- 司会者 山梨大学 服部 一秀
- (1) 9:30 子どもが主体的に「社会的な見方」と「社会的な考え方」を働かせた「問い」を立てる社会科の授業開発  
 - 中学校公民的分野単元「財政と国民の福祉」を事例として -  
 兵庫教育大学大学院 安永 虎吉
- (2) 10:00 戦後初期における上野實義の社会科歴史教育論  
 - 広島史学研究会編『世界史研究』の分析を基にして -  
 兵庫教育大学研究生 松本 朋也
- (3) 10:30 中国伝統文化の受容を踏まえた歴史学習内容の開発研究  
 - 高等学校日本史の小単元「唐・平安時代の文化から見た東山山荘」を事例に -  
 広島大学大学院 牛 立保
- (4) 11:00 オーストラリアの歴史教育における論述能力の評価  
 - ニュー・サウス・ウェールズ州の大学入学資格試験「現代史」の分析から -  
 近畿大学 下村 隆之
- (5) 11:30 循環型社会の認識形成を図る中学校社会科公民的分野の単元開発  
 - ペットボトルリサイクルを事例として -  
 福岡県大野城市立平野中学校 大津 圭介

---

**昼 食 (12:00~13:00)**  
**社会系教科教育学会・理事会 (12:00~13:00)**  
**共通講義棟 205教室**

---

---

**シンポジウム (13:00~17:00) 教育子午線ホール**

---

シンポジウムテーマ

**社会系教科教育における教員の資質・能力を問い直す  
ー理論と実践のブレイクスルーー**

社会系教科教育学会では、1989年の創設以来、社会系教科教育実践に重点をおいて、理論を実践化する、そして、実践を理論化することを目指し、教育実践的研究を展開してきた。例えば、実践をとおした授業改善や、研究者と教員による協働の在り方が模索されてきた。一方で、現職教員には授業の遂行力がすでに備わっていることが前提とされてきた感があり、支援しなければならないととらえられてきた資質・能力には偏りがあったのではないだろうか。これらを含め、社会系教科教員の資質・能力をとらえ直すための議論が必要であると考えた。

学会設立30周年を迎えるにあたって、教員養成教育、教職大学院教育、学校現場研修における社会系教科教育研究の現状及びこれまでの成果と課題を批判的に検討し、今求められている新たな課題を明らかにすることで、教員の資質・能力の枠組みを再考し、学校教育の現場が抱える実践上の諸問題を解決する契機としたい。

コーディネーター	兵庫教育大学	吉水 裕也
	兵庫教育大学	山内 敏男
指定討論者	兵庫教育大学	米田 豊
シンポジスト		
社会系教科教育における教員養成の課題	武蔵大学	武田 信子
教職大学院における社会系教科教員養成の現状と課題 ー総合的な教師力と社会系教科教員としての資質・能力ー	宮崎大学	吉村功太郎
メンタリングを基盤とした現職教師教育の可能性 ー日本史教師の専門性をいかに引き出すかー	兵庫県立西宮香風高等学校	石川 照子

---

社会系教科教育学会・総会（17：00～17：45）教育子午線ホール

---

情報交換会（18：00～19：30） 大学会館 学生食堂

---

第2日 2月10日（日） 於：共通講義棟

---

自由研究発表〔2〕 （9：30～12：00）

---

【第8分科会】（1階 102教室）

司会者 東京学芸大学 渡部 竜也

- (1) 9：30 「経年的被害」に焦点を当てた十五年戦争学習授業実践記録の記述分析  
上越教育大学大学院 益本 卓哉
- (2) 10：00 日本近現代史における「民主化の過程」を吟味する学習の授業構成  
－主権者教育としての歴史的分野総括単元「民主化の道を拓く：歴史から学ぶ私たちの課題」の開発－  
鳴門教育大学大学院 安宅 彰平
- (3) 10：30 スイスドイツ語圏における歴史教師のビリーフ研究に関する考察  
－日本でのビリーフ調査の実施に向けて－  
島根大学 宇都宮明子
- (4) 11：00 地域社会と連携した食育プログラムの開発研究  
－小学校総合的な学習の時間の授業開発を事例として－  
岡山大学大学院 山田 凧紗  
岡山大学大学院 山田 真珠
- (5) 11：30 明治期を対象とした社会科文化史学習（音楽）について  
－教科書記述の見直しと提案－  
文教大学 吉田 正生

【第9分科会】（1階 103教室）

- |           |   |  |                         |
|-----------|---|--|-------------------------|
|           | 司会者   | 関西福祉科学大学   | 馬野 範雄                   |
| (1) 9:30  | 特別支援教育と教科教育の融合を目指した中学校社会科授業のモデル開発<br>－障害理解教育の視点をもとにして－      | 兵庫教育大学大学院  | 猿渡正一朗                   |
| (2) 10:00 | 小学校教師の論争問題学習に対する認識とその形成要因に関する研究                             | 岡山大学大学院  | 岩本 健                    |
| (3) 10:30 | 小規模校における交換授業を通じたカリキュラム・マネジメントの実践報告<br>－社会科・総合的な学習の時間を事例として－ | 大阪府泉南郡岬町立深日小学校<br>大阪府泉南郡岬町立深日小学校<br>大阪府泉南郡岬町立深日小学校 | 岡田 良平<br>長根わかば<br>足立しのぶ |
| (4) 11:00 | 外部講師とコラボして探究心を育てる<br>－ポディティブからアクティブへと変わる生徒－                 | 立命館宇治高等学校  | 河原 紀彦                   |
| (5) 11:30 | 世界とつながる小学校歴史学習の授業開発<br>－6年生単元「明治の世の中を作った人々」を事例として－          | 霧島市立国分小学校  | 福田 弥彦                   |

【第10分科会】（1階 104教室）

- |           |   |  |  |
|-----------|---|--|--|
|           | 司会者   | 岐阜大学   | 須本 良夫  |
| (1) 9:30  | 対話を重視した主権者教育プログラムの開発研究                                      | 岡山大学大学院  | 原田 稚子  |
| (2) 10:00 | 小学校社会科における児童の記述を評価する実際的な方法について<br>－3年生児童の記述の評価レベルを設定する－     | 堺市立福泉上小学校  | 丹後 靖史  |
| (3) 10:30 | 費用と便益の視点を組み込んだ小学校公民学習の開発<br>－公共事業における経済的な理解をめざして－           | 西宮市立名塩小学校  | 松浪 軌道  |
| (4) 11:00 | 情報産業と小売業の関連を習得させる小学校社会科授業の開発<br>－「スシローの回転すし総合管理システム」を教材として－ | 宝塚市立丸橋小学校<br>西宮市立名塩小学校<br>明石市立沢池小学校<br>宝塚市立末成小学校<br>姫路市立白鷺小学校<br>三木市立緑が丘東小学校<br>神戸市立伊川谷中学校<br>兵庫教育大学 | 西尾 諭<br>松浪 軌道<br>石田 誠<br>岩下真一郎<br>竹内 哲宏<br>薬内 要<br>魚谷 亮太<br>米田 豊 |
| (5) 11:30 | 小学校社会科担当者会における授業研究マネジメントの考察<br>－兵庫県内各市町の実態を手掛かりとして－         | 宝塚市立末成小学校<br>三木市立緑が丘東小学校<br>明石市立沢池小学校<br>宝塚市立丸橋小学校<br>姫路市立白鷺小学校<br>西宮市立名塩小学校<br>神戸市立伊川谷中学校<br>兵庫教育大学 | 岩下真一郎<br>薬内 要<br>石田 誠<br>西尾 諭<br>竹内 哲宏<br>松浪 軌道<br>魚谷 亮太<br>米田 豊 |

【第11分科会】（1階 111教室）

- |           |   |  |                                |                                  |
|-----------|---|--|--------------------------------|----------------------------------|
|           | 司会者   | 佛教大学   | 小林                             | 隆                                |
| (1) 9:30  | 小・中学校の接続を目指す社会科授業の実証的研究<br>- 郷土の偉人を取り上げた歴史人物学習の開発を事例として -                 | 愛媛大学<br>愛媛大学<br>松山市立湯山中学校<br>松山市立北条小学校                             | 井上<br>藤原<br>大西<br>篠原           | 昌善<br>一弘<br>智也<br>慶史             |
| (2) 10:00 | 社会科固有の「読解力」形成のための授業開発研究 (VI)<br>- 第6学年単元「日本の財政のはたらき～消費増税あなたならどうする!？」の場合 - | 兵庫教育大学<br>兵庫教育大学<br>兵庫教育大学<br>兵庫教育大学<br>兵庫教育大学附属小学校<br>兵庫教育大学附属小学校 | 關<br>吉水<br>山内<br>福田<br>森<br>吉田 | 浩和<br>裕也<br>敏男<br>喜彦<br>清成<br>繁之 |
| (3) 10:30 | 社会科教師教育における「意味ある会話」の重要性<br>- 近年の米国の動向から：キーワード、カリキュラム開発、多様性と討議 -           | 東京大学   | 堀田                             | 論                                |
| (4) 11:00 | 社会科の専門家たちは、いかに生活科教育論の構想に取り組んできたのか<br>- 成立期における議論とその構造に注目して -              | 広島大学<br>愛知東邦大学<br>静岡大学<br>お茶の水女子大学                                 | 渡邊<br>白井<br>村井<br>岡田           | 巧<br>克尚<br>大介<br>了祐              |
| (5) 11:30 | 「現代社会における政治・経済の諸課題の探究」に関する教育内容開発<br>- 2018年「水道法」改正を題材として -                | 西九州大学  | 松井                             | 克行                               |

【第12分科会】（1階 113教室）

- |           |  |   |                                    |  |
|-----------|--|---|------------------------------------|--|
|           | 司会者  | 岡山大学  | 桑原                                 | 敏典   |
| (1) 9:30  | 法教育における模擬裁判の意義に関する研究<br>- アメリカ法曹協会『Putting on Mock Trials』を事例として - | 岡山大学大学院   | 山岸                                 | 佳意   |
| (2) 10:00 | 教科書づくりを通じた領土問題学習プログラム開発研究<br>- 日中韓の相互理解を目指して -                     | 岡山大学大学院<br>岡山大学大学院<br>岡山大学大学院<br>岡山大学大学院<br>岡山大学大学院<br>岡山大学大学院<br>岡山大学大学院 | 周<br>李<br>郭<br>胡<br>橋本<br>山岸<br>山田 | 星星<br>賞給<br>嗣婷<br>倩雯<br>憲人<br>佳意<br>真珠<br>風紗 |
| (3) 10:30 | 社会形成を目指す授業はどのように開発・実践されているのか<br>- 韓国の小学校の場合：A教師の実践事例 -             | 大阪教育大学<br>ソウル教育大学校  | 峯<br>南                             | 明秀<br>昊燁                                     |
| (4) 11:00 | 日中比較を通して女性に関する価値観の形成を目指す授業改善研究<br>- 家族形態・ライフスタイルに関する内容を中心に -       | 兵庫教育大学大学院連合学校教育研究科<br>兵庫教育大学<br>鳴門教育大学                                    | 王<br>福田<br>井上                      | 佳穎<br>喜彦<br>奈穂                               |

(5) 11:30 韓国における小学校社会科の内容構成の特質  
 - 法規範教育の観点から -

鳴門教育大学	井上 奈穂
光州教育大学校	李 貞姫
兵庫教育大学	福田 喜彦
上越教育大学	梅野 正信

**課題研究発表 (13:00~16:30)**

**課題研究 I 教員養成教育のブレイクスルー**

(場所 共通講義棟 106)

教員養成教育は、大学の教員養成課程で大学教員が行うものがその中心である。しかし、教育実習や学校インターンシップ、あるいは教育委員会が教員志望の学生に対して開講している教師塾などのプログラム等において、現職教員は指導担当教員や講師という立場で教員養成教育の一翼を担っている。このような学校教育現場での学生に対する指導や取組は、大学での教員養成教育に大きな影響を与えるものとなっている。

教員の大量退職・大量採用の流れが続く中、大学を卒業したばかりの新任教員であったとしても、「即戦力」であることが強く求められている。この状況を背景として、教員養成課程をもつ大学に対して教職課程コアカリキュラムに基づく再課程認定が行われた。また、各教育委員会では教員養成協議会を設置して育成指標を策定し、採用時から管理職に至るまでの各段階において、教員が身に付けておくべき資質・能力を明確に示すようになった。しかし、各教科の指導法のコアカリキュラムや育成指標の学習指導に関する項目には、各教科レベルの具体的な専門性が示されていない。教員養成教育に関する研究は、その必要性や重要性にもかかわらず、十分進んでいるとは言い難い状況であり、社会系教科における教員の資質・能力の育成を視点とした研究に関しても同様である。教員養成教育の機会が大学だけでなく学校教育現場にまで広がっている現在、大学教員だけでなく、様々な機会に学生の指導に当たってきた現職教員にも、実践知が豊富に蓄積されているはずである。登壇者の先生方には、教員養成教育に関わるこれまでの取組やそこで得られた知見を語っていただくとともに、フロアの皆様の知見も加え、それらを交流することをおして、本分科会を社会系教科における教員の資質・能力について考える場としたい。そのことが、これからの社会系教科教育を担う若い教員のよりよい育成や、教育・研究そのものの質の向上へとつながれば幸いである。

コーディネーター	畿央大学	小谷恵津子
指定討論者	大阪体育大学	岡崎 均
課題研究発表 社会科教育に関わる教師の資質・能力と教員養成教育	京都ノートルダム女子大学	大西 慎也
学校教育現場における教員養成の取り組み - 小学校での教育実習や経験者研修を担当して -	東大阪市立花園北小学校	澁谷 友和
学校教育現場における教員養成の実際 - 教育行政並びに管理職の視点から -	御所市立葛上中学校	東元 信浩

## 課題研究Ⅱ 教職大学院教育のブレイクスルー

(場所 共通講義棟 108)

社会系教科教育研究は、大学院修士課程が全国に設置されたことが一つのきっかけとなり発展してきた。しかしながら、修士課程での現職派遣等が研究室での理論研究に偏り、必ずしも今日の学校教育が抱える学力問題に関連した授業改善に結び付いていないとの批判との中で、平成20(2008)年4月から新構想の三大学を含めて全国の国公立20大学に教職大学院が創設された。そして、理論と実践の往還を課題に、実習科目に重きを置く研究・指導体制が確立されてきた。教職大学院のカリキュラムは従来の修士課程の30単位から、約1.5倍の45単位以上を履修する。5領域の共通科目(概ね20単位)、専門科目、10単位の実習科目の三層構造から構成され、共通科目と専門科目の学びの理論を実習科目の中で実践し、検証することで実践知を理論知の再構成に繋げている。そのため、実務経験が豊富な実務家教員の指導により、研究者視点に偏ることなく実践面からの指導が強化されてきている。平成29(2017)年8月に出された有識者会議の「報告書」によれば、教職大学院の課題について、次のように述べられている。

- ・原則、教員養成に関わる専攻は修士課程から教職大学院に移行(重点化)
- ・「理論と実践の往還」の手法を活用した、新たな教育課題や最新の教育改革動向への対応
- ・各教科等において新学習指導要領の3つの柱に基づいた資質・能力を児童生徒に教授できる教員の養成

登壇者の先生方には、自己の教職実践歴をふりかえって実践に役立つ理論をどこでどのように学んできたのか、また、それらの理論と実践にどのように活用してきたのか、授業実践の中から新たな理論をどのように作り変え、または作り上げていったのか、それぞれの立場から「理論と実践の往還」をキーワードに実際の授業実践の事例を紹介していただく。このような課題を踏まえ、修士課程から教職大学院重点化の組織改革の流れの中で、今一度、教職大学院教育における「理論と実践の往還」について、フロアの参加者の皆さまとの意見交換・議論を通して考えてみたい。

コーディネーター  
指定討論者

鳴門教育大学  
山梨大学  
宮崎大学

西村 公孝  
服部 一秀  
吉村功太郎

課題研究発表

教職大学院での「理論と実践の往還」の実際  
-実務家教員(特任教授)の立場から-

愛知教育大学

大島 清和

未来を拓く力を育てる社会科学習

-全国中学校社会科教育研究大会の授業実践における理論と実践の往還-

鳴門教育大学附属中学校

大谷 啓子

授業仮説を中核とした授業研究方法論の研究

-教職大学院における理論と実践の往還をもとに-

西宮市立用海小学校

恒吉 泰行

## 課題研究Ⅲ 学校現場研修のブレイクスルー

(場所 教育子午線ホール)

教員の大量退職・大量採用の影響により経験の浅い教員が増加する中、教員の資質向上が求められている。平成27年12月、中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質向上について」が出され、次いで、養成、採用、研修の一体化による教員の資質向上を図るための教育公務員特例法の一部改正が行われた(平成29年4月1日施行)。そこでは、教員等の任命権者は、教育委員会と関係大学等で構成する協議会を組織し、教員の資質の向上を図るための指標を定めるとされた。このような教員の資質向上に関わる行政的な動きの中で、今回、学習指導要領も改訂された。

一方、学校現場における社会系教科目に係る資質向上、研修の状況といえば、小学校では、社会科以外の教科も教えなければならず、かつ各学校の研究テーマが社会科であることはごく稀で、社会科の研修、授業研究の機会は極めて限定的である。中学校では、生徒指導やクラブ指導など多忙な中、学校全体での教科を越えた研修は行われても、各教科の研修となると、教科担当の人数の問題もあり、個々の教員に任されているのが実情ではないか。高校では、さらに専門性の名のもとに、個人に任される傾向が強いのではないか。

このような状況の中で、これまでの社会系教科教育研究および研究者の成果や英知は、学校現場研修からみると、教員の資質向上にどのように資することができるのか。これまでの成果の何が活用でき、何がより必要とされているのか。

本課題研究では、学校、民間教育団体、教育研修所、さらには管理職という立場、かつ小・中・高という校種も踏まえながら、それぞれの登壇者から、社会科教育実践に係る教員の資質向上を図るための課題を提起していただき、その克服のためには何をどうする必要があるのか。そこに、これまでの社会系教科教育研究および研究者の成果や英知をどう活用することができるのか、何が求められるのか、を提案していただく。そしてフロアの参加者の皆さまとの意見交換・議論を通して、社会系教科教育の理論と実践のブレイクスルーを期待したい。

コーディネーター

四天王寺大学

中本 和彦

指定討論者

西宮香風高等学校

石川 照子

課題研究発表

「改めて」子どもを媒介にした理論と実践の統合をめざして

竜王町立竜王西小学校

松浦 雄典

子どもの視点に立ち、現場に根差した社会科教育の創造を目指して

－来夏、授業のネタ研究会50回記念研究会を迎えるにあたり－

立命館大学

河原 和之

教員研修の立場から見た社会系教科教育研究の可能性

広島県立教育センター

平田 浩一